



## 2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月31日

上場会社名 株式会社きんでん

上場取引所 東

コード番号 1944 URL <http://www.kinden.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 前田 幸一

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経理部長 (氏名) 錦織 和昭

TEL 06-6375-6000

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	110,159	24.8	3,354	64.7	4,319	34.8	3,290	89.2
2019年3月期第1四半期	88,237	7.0	2,036	12.6	3,204	1.8	1,738	11.0

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 7,602百万円 (230.4%) 2019年3月期第1四半期 2,300百万円 (62.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	15.17	
2019年3月期第1四半期	8.01	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	595,647	454,391	76.1
2019年3月期	634,064	450,265	70.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 453,222百万円 2019年3月期 449,112百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		14.00		16.00	30.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		15.00		15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	249,000	19.9	11,300	3.1	12,700	3.0	9,100	17.4	41.94
通期	560,000	7.4	40,400	0.1	43,000	1.2	30,500	5.7	140.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.8「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	218,141,080 株	2019年3月期	218,141,080 株
------------	---------------	----------	---------------

期末自己株式数

2020年3月期1Q	1,190,157 株	2019年3月期	1,189,874 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	216,951,023 株	2019年3月期1Q	216,953,135 株
------------	---------------	------------	---------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

(参考) 個別業績予想

2020年3月期の個別業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	220,000	20.8	10,000	5.2	13,500	13.8	10,500	32.7	48.40
通期	490,000	7.3	33,600	0.2	38,300	1.0	28,000	6.7	129.06

(注)直近に公表されている個別業績予想からの修正の有無：無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書（第1四半期連結累計期間）	P. 6
四半期連結包括利益計算書（第1四半期連結累計期間）	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(追加情報)	P. 8
3. (参考) 個別財務諸表	P. 9
(1) 四半期個別貸借対照表	P. 9
(2) 四半期個別損益計算書（第1四半期累計期間）	P. 11
4. (参考) 個別業績の概要	P. 12～15

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出や生産の弱さが続いているものの、雇用情勢の改善や個人消費の持ち直しなどを背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

建設業界におきましては、公共投資は底堅く、民間設備投資も緩やかに増加し、東京オリンピック・パラリンピック関連事業や再開発事業といった大型工事が本格化する一方、技能労働者の不足や資材価格の上昇により、経営環境に厳しさが残りました。

このような景況下、当社グループは2017年度から2020年度までの4年間の中期経営計画を策定し、強い事業基盤の確立、更なる生産性向上、労働環境の改善と従業員の満足度向上を図るべく、事業活動を展開しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績につきましては、

完成工事高	1,101億5千9百万円	(前年同期比 24.8%増)
営業利益	33億5千4百万円	(前年同期比 64.7%増)
経常利益	43億1千9百万円	(前年同期比 34.8%増)
親会社株主に帰属する四半期純利益	32億9千万円	(前年同期比 89.2%増)

となりました。完成工事高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益とも前年同期実績を上回りました。

個別業績につきましては、

完成工事高	974億6千万円	(前年同期比 27.3%増)
営業利益	24億6千3百万円	(前年同期比 59.5%増)
経常利益	59億1千1百万円	(前年同期比 68.3%増)
四半期純利益	51億7千3百万円	(前年同期比 127.2%増)

となりました。完成工事高、営業利益、経常利益、四半期純利益とも前年同期実績を上回りました。

#### (個別の完成工事高)

完成工事高は、前年同期より208億8千3百万円増加し974億6千万円(前年同期比27.3%増)となりました。

得意先別は、関西電力が前年同期より11億4千2百万円増加し154億6千6百万円(前年同期比8.0%増)、関西電力グループが前年同期より8億7千5百万円増加し43億9千8百万円(前年同期比24.8%増)となり、一般得意先は前年同期より188億6千5百万円増加し775億9千6百万円(前年同期比32.1%増)となりました。

工事種別は、配電工事が前年同期より8億1千4百万円増加し140億3千1百万円(前年同期比6.2%増)、一般電気工事が前年同期より152億4千8百万円増加し633億1千万円(前年同期比31.7%増)、情報通信工事が前年同期より9億1千8百万円増加し81億6千2百万円(前年同期比12.7%増)、環境関連工事が前年同期より23億2千8百万円増加し72億1百万円(前年同期比47.8%増)、電力その他工事が前年同期より15億7千2百万円増加し47億5千4百万円(前年同期比49.4%増)となりました。配電工事の増加の主な要因は、関西電力の工事量が増加したこと、一般電気工事の増加の主な要因は、事務所ビルや商業・娯楽施設等が増加したこと、情報通信工事の増加の主な要因は、携帯電話関連やCATV設備等が増加したこと、環境関連工事の増加の主な要因は、商業・娯楽施設等が増加したこと、電力その他工事の増加の主な要因は、架空送電線工事や発・変電所工事等が増加したことによります。

#### (個別の受注工事高)

受注工事高は前年同期より41億5百万円増加し1,391億円(前年同期比3.0%増)となりました。

得意先別は、関西電力が前年同期より4億6百万円増加し170億6千2百万円(前年同期比2.4%増)となり、関西電力グループが前年同期より7億1千4百万円減少し39億7千6百万円(前年同期比15.2%減)となりました。一般得意先は、前年同期より44億1千3百万円増加し1,180億6千1百万円(前年同期比3.9%増)となりました。

工事種別は、配電工事が前年同期より6億8千1百万円増加し157億5千9百万円(前年同期比4.5%増)、一般電気工事が前年同期より56億5千7百万円増加し927億8百万円(前年同期比6.5%増)、情報通信工事が前年同期より12億1百万円減少し122億5千3百万円(前年同期比8.9%減)、環境関連工事が前年同期より9億5千7百万円増加し114億7千6百万円(前年同期比9.1%増)、電力その他工事が前年同期より19億8千8百万円減少し69億1百万円(前年同期比22.4%減)となりました。配電工事の増加の主な要因は、関西電力の工事量が増加したこと、一般電気工事の増加の主な要因は、事務所ビルや教育・文化施設等が増加したこと、情報通信工事の減少の主な要因は、携帯電話関連やCATV設備等が減少したこと、環境関連工事の増加の主な要因は、保健・医療施設や物流施設等が増加したこと、電力その他工事の減少の主な要因は、発・変電所工事等が減少したことによります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ492億2百万円減少し、3,462億9千3百万円(前年度末比12.4%減)となりました。減少の主なものは、受取手形・完成工事未収入金等で、売上債権の回収が順調に進んだことが要因です。手元資金(現金預金及び有価証券)は、39億1千2百万円減少し、1,463億4千2百万円となりました。手元資金の減少は、仕入債務や法人税、配当金の支払い、長期預け金の支出等が、売上債権の回収等を上回ったことが主な要因です。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ107億8千5百万円増加し、2,493億5千3百万円(前年度末比4.5%増)となりました。有形固定資産は、3億9千5百万円減少し、971億8千6百万円となりました。新規取得及び除売却に特に大きなものはなく、主に減価償却による減少となっています。投資その他の資産は、前連結会計年度末に比べ109億7千1百万円増加し、1,496億5百万円となりました。長期預け金の増加や確定拠出年金制度への一部移行に伴う退職給付に係る資産の増加が主な要因です。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ384億1千6百万円減少し、5,956億4千7百万円(前年度末比6.1%減)となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ362億2千5百万円減少し、1,179億1百万円(前年度末比23.5%減)となりました。減少の主な要因は、材料費等の仕入債務の支払いが進んだことによる支払手形・工事未払金等の減少と法人税等の支払いによる未払法人税等の減少によります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ63億1千6百万円減少し、233億5千4百万円(前年度末比21.3%減)となりました。確定拠出年金制度への一部移行に伴う退職給付に係る負債の減少が主な要因です。

これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ425億4千2百万円減少し、1,412億5千6百万円(前年度末比23.1%減)となりました。

(純資産)

株主資本は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加、株主配当による減少等の結果、前連結会計年度末と比べ1億8千1百万円減少し、4,174億6千5百万円となりました。その他の包括利益累計額は、確定拠出年金制度への一部移行に伴う退職給付に係る調整累計額の増加等により、前連結会計年度末と比べ42億9千1百万円増加し、357億5千7百万円となりました。

また、非支配株主持分は11億6千9百万円となりました。

これらの結果、純資産は、前連結会計年度末に比べ41億2千5百万円増加し、4,543億9千1百万円(前年度末比0.9%増)となりました。なお、自己資本比率は、前連結会計年度末より5.3ポイント上昇し、76.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間は計画通り推移しており、2019年4月26日に発表しました予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	40,255	44,342
受取手形・完成工事未収入金等	222,123	168,747
有価証券	110,000	102,000
未成工事支出金	16,878	23,350
材料貯蔵品	1,350	1,420
その他	6,888	8,122
貸倒引当金	△1,999	△1,690
流動資産合計	395,496	346,293
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	91,836	92,057
機械・運搬具	39,358	39,538
工具器具・備品	10,868	10,904
土地	57,360	57,388
建設仮勘定	608	608
減価償却累計額	△102,449	△103,311
有形固定資産合計	97,582	97,186
無形固定資産		
投資その他の資産	2,351	2,561
投資その他の資産		
投資有価証券	132,342	128,746
長期預け金	—	10,000
退職給付に係る資産	—	4,978
繰延税金資産	958	984
その他	6,275	5,820
貸倒引当金	△941	△925
投資その他の資産合計	138,634	149,605
固定資産合計	238,568	249,353
資産合計	634,064	595,647

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	83,908	58,016
短期借入金	15,540	17,216
未払法人税等	10,814	2,324
未成工事受入金	13,580	18,574
工事損失引当金	477	392
完成工事補償引当金	477	531
役員賞与引当金	194	—
その他	29,133	20,845
流動負債合計	154,127	117,901
固定負債		
長期借入金	—	41
繰延税金負債	2,091	4,020
役員退職慰労引当金	200	174
退職給付に係る負債	27,135	18,893
その他	243	225
固定負債合計	29,671	23,354
負債合計	183,798	141,256
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,411	26,411
資本剰余金	29,184	29,184
利益剰余金	363,104	362,923
自己株式	△1,053	△1,054
株主資本合計	417,646	417,465
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38,864	35,140
為替換算調整勘定	△686	△688
退職給付に係る調整累計額	△6,711	1,305
その他の包括利益累計額合計	31,465	35,757
非支配株主持分	1,153	1,169
純資産合計	450,265	454,391
負債純資産合計	634,064	595,647



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
完成工事高	88,237	110,159
完成工事原価	73,587	93,454
完成工事総利益	14,649	16,704
販売費及び一般管理費	12,613	13,350
営業利益	2,036	3,354
営業外収益		
受取利息	50	51
受取配当金	893	905
その他	321	232
営業外収益合計	1,264	1,189
営業外費用		
支払利息	35	34
為替差損	—	110
その他	61	79
営業外費用合計	97	224
経常利益	3,204	4,319
特別利益		
退職給付制度改定益	—	1,603
その他	25	82
特別利益合計	25	1,685
特別損失		
固定資産除却損	29	27
投資有価証券評価損	—	82
その他	155	2
特別損失合計	184	112
税金等調整前四半期純利益	3,044	5,891
法人税等	1,294	2,599
四半期純利益	1,749	3,292
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,738	3,290

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,749	3,292
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,175	△3,723
為替換算調整勘定	△756	16
退職給付に係る調整額	131	8,016
その他の包括利益合計	550	4,309
四半期包括利益	2,300	7,602
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,332	7,581
非支配株主に係る四半期包括利益	△31	20

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用算定方法)

税金費用の算定については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(追加情報)

(確定拠出年金制度への一部移行について)

当社は、2019年4月より確定給付企業年金制度の一部について、確定拠出年金制度へ移行し、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号 平成28年12月16日)を適用しています。

本移行に伴う影響額は、当第1四半期連結累計期間に特別利益1,603百万円を計上しています。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間において独立掲記していた営業外収益の「不動産賃貸料」、「持分法による投資利益」及び「為替差益」は、金額的重要性が乏しく簡潔明瞭な表示にするため、当第1四半期連結累計期間より営業外収益の「その他」に含めて表示することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の連結財務諸表の組替えを行っています。

この結果、前第1四半期連結累計期間の連結損益計算書において、営業外収益の「不動産賃貸料」に表示していた46百万円、「持分法による投資利益」に表示していた15百万円、「為替差益」に表示していた123百万円及び、「その他」に表示していた135百万円は、営業外収益の「その他」321百万円として組み替えています。

前第1四半期連結累計期間において独立掲記していた営業外費用の「特別弔慰金」は、金額的重要性が乏しく簡潔明瞭な表示にするため、当第1四半期連結累計期間より営業外費用の「その他」に含めて表示することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の連結財務諸表の組替えを行っています。

この結果、前第1四半期連結累計期間の連結損益計算書において、営業外費用の「特別弔慰金」に表示していた0百万円、「その他」に表示していた61百万円は、営業外費用の「その他」61百万円として組み替えています。

前第1四半期連結累計期間において独立掲記していた特別利益の「固定資産売却益」及び「投資有価証券売却益」は、金額的重要性が乏しく簡潔明瞭な表示にするため、当第1四半期連結累計期間より特別利益の「その他」に含めて表示することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の連結財務諸表の組替えを行っています。

この結果、前第1四半期連結累計期間の連結損益計算書において、特別利益の「固定資産売却益」に表示していた5百万円及び「投資有価証券売却益」に表示していた19百万円は、特別利益の「その他」25百万円として組み替えています。

前第1四半期連結累計期間において独立掲記していた特別損失の「減損損失」は、金額的重要性が乏しく簡潔明瞭な表示にするため、当第1四半期連結累計期間より特別損失の「その他」に含めて表示することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の連結財務諸表の組替えを行っています。

この結果、前第1四半期連結累計期間の連結損益計算書において、特別損失の「減損損失」に表示していた155百万円は、特別損失の「その他」155百万円として組み替えています。

3. (参考) 個別財務諸表

(1) 四半期個別貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	14,170	17,498
受取手形	4,037	3,407
電子記録債権	33,437	27,769
完成工事未収入金	161,867	120,452
有価証券	110,000	102,000
未成工事支出金	14,440	19,849
材料貯蔵品	794	869
その他	5,134	6,159
貸倒引当金	△1,955	△1,647
流動資産合計	341,926	296,357
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	82,345	82,508
機械・運搬具	21,789	21,980
工具器具・備品	9,632	9,652
土地	55,071	55,070
建設仮勘定	494	494
減価償却累計額	△86,714	△87,283
有形固定資産合計	82,618	82,423
無形固定資産		
借地権	116	116
電話加入権	136	136
ソフトウェア	1,926	2,146
無形固定資産合計	2,179	2,399
投資その他の資産		
投資有価証券	125,237	121,974
関係会社株式	9,271	9,345
長期預け金	—	10,000
長期貸付金	12	11
関係会社長期貸付金	15,329	15,328
破産更生債権等	3	3
長期前払費用	117	89
前払年金費用	—	956
その他	3,679	3,666
貸倒引当金	△876	△860
投資その他の資産合計	152,774	160,516
固定資産合計	237,572	245,338
資産合計	579,499	541,696

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	2,258	2,829
工事未払金	70,681	47,836
短期借入金	14,710	16,210
未払金	8,648	7,488
未払費用	12,648	7,037
未払法人税等	9,601	2,004
未成工事受入金	9,237	12,531
工事損失引当金	477	392
完成工事補償引当金	252	285
役員賞与引当金	78	—
その他	5,939	4,441
流動負債合計	134,534	101,057
固定負債		
繰延税金負債	4,918	3,340
退職給付引当金	16,302	15,587
その他	888	769
固定負債合計	22,108	19,697
負債合計	156,642	120,754
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	26,411	26,411
資本剰余金		
資本準備金	29,657	29,657
その他資本剰余金	0	0
資本剰余金合計	29,657	29,657
利益剰余金		
利益準備金	6,602	6,602
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	326	326
別途積立金	293,400	313,400
繰越利益剰余金	29,625	11,327
利益剰余金合計	329,955	331,657
自己株式	△1,053	△1,054
株主資本合計	384,971	386,672
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	37,885	34,269
評価・換算差額等合計	37,885	34,269
純資産合計	422,856	420,941
負債純資産合計	579,499	541,696

(2) 四半期個別損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
完成工事高	76,577	97,460
完成工事原価	63,951	83,258
完成工事総利益	12,625	14,202
販売費及び一般管理費	11,081	11,739
営業利益	1,544	2,463
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,870	3,533
その他	176	88
営業外収益合計	2,046	3,622
営業外費用		
支払利息	32	32
その他	44	141
営業外費用合計	77	173
経常利益	3,513	5,911
特別利益	25	1,612
特別損失	184	113
税引前四半期純利益	3,353	7,411
法人税等	1,076	2,238
四半期純利益	2,276	5,173

(注) 開示した四半期個別財務諸表は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

4. (参考) 個別業績の概要

(1) 2020年3月期第1四半期の個別業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

①個別経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	97,460	27.3	2,463	59.5	5,911	68.3	5,173	127.2
2019年3月期第1四半期	76,577	△8.8	1,544	△17.3	3,513	1.9	2,276	△2.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	23.84	—
2019年3月期第1四半期	10.50	—

②個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	541,696	420,941	77.7	1,940.26
2019年3月期	579,499	422,856	73.0	1,949.09

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 420,941百万円 2019年3月期 422,856百万円

(2) 受注工事高、完成工事高及び手持工事高

(単位：百万円)

項 目	前第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		増 減 (△)
	金額	%	金額	%	
期首手持工事高	329,145		376,792		47,647
期中受注工事高	134,994		139,100		4,105
合 計	464,140		515,893		51,753
内完成工事高	76,577		97,460		20,883
差引手持工事高	387,562		418,432		30,869

(3) 得意先別受注工事高及び完成工事高

①受注工事高

(単位：百万円)

得 意 先	前第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		増 減 (△)	
	金額	%	金額	%	金額	%
関西電力(株)	16,655	12.3	17,062	12.3	406	2.4
関西電力グループ	4,691	3.5	3,976	2.8	△714	△15.2
一 般 得 意 先	113,647	84.2	118,061	84.9	4,413	3.9
合 計	134,994	100.0	139,100	100.0	4,105	3.0

②完成工事高

(単位：百万円)

得 意 先	前第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		増 減 (△)	
	金額	%	金額	%	金額	%
関西電力(株)	14,323	18.7	15,466	15.9	1,142	8.0
関西電力グループ	3,523	4.6	4,398	4.5	875	24.8
一 般 得 意 先	58,730	76.7	77,596	79.6	18,865	32.1
合 計	76,577	100.0	97,460	100.0	20,883	27.3



(4) 工事種別受注工事高及び完成工事高

①受注工事高

(単位：百万円)

工事種別	前第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		増減(△)	
	金額	%	金額	%	金額	%
配電工事	15,077	11.2	15,759	11.3	681	4.5
一般電気工事	87,051	64.5	92,708	66.6	5,657	6.5
情報通信工事	13,455	9.9	12,253	8.8	△1,201	△8.9
環境関連工事	10,519	7.8	11,476	8.3	957	9.1
電力その他工事	8,890	6.6	6,901	5.0	△1,988	△22.4
合計	134,994	100.0	139,100	100.0	4,105	3.0

②完成工事高

(単位：百万円)

工事種別	前第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		増減(△)	
	金額	%	金額	%	金額	%
配電工事	13,216	17.2	14,031	14.4	814	6.2
一般電気工事	48,062	62.8	63,310	64.9	15,248	31.7
情報通信工事	7,243	9.5	8,162	8.4	918	12.7
環境関連工事	4,873	6.4	7,201	7.4	2,328	47.8
電力その他工事	3,181	4.1	4,754	4.9	1,572	49.4
合計	76,577	100.0	97,460	100.0	20,883	27.3

(5) 工事種別手持工事高

(単位：百万円)

工事種別	前第1四半期末 (2018年6月30日)		当第1四半期末 (2019年6月30日)		増減(△)	
	金額	%	金額	%	金額	%
配電工事	9,044	2.3	10,950	2.6	1,905	21.1
一般電気工事	305,847	78.9	320,423	76.6	14,576	4.8
情報通信工事	14,660	3.8	17,690	4.2	3,029	20.7
環境関連工事	27,856	7.2	29,894	7.2	2,038	7.3
電力その他工事	30,153	7.8	39,473	9.4	9,319	30.9
合計	387,562	100.0	418,432	100.0	30,869	8.0

(6) 2020年3月期(2019年4月1日~2020年3月31日)受注工事高及び完成工事高予想

①得意先別

(単位:百万円)

得意先	受注工事高		完成工事高	
	金額	%	金額	%
関西電力㈱	62,700	13.6	62,300	12.7
関西電力グループ	13,500	3.0	16,700	3.4
一般得意先	383,800	83.4	411,000	83.9
合計	460,000	100.0	490,000	100.0

②工事種別

(単位:百万円)

工事種別	受注工事高		完成工事高	
	金額	%	金額	%
配電工事	60,200	13.1	59,800	12.2
一般電気工事	293,000	63.7	331,000	67.6
情報通信工事	44,800	9.7	41,700	8.5
環境関連工事	32,700	7.1	34,400	7.0
電力その他工事	29,300	6.4	23,100	4.7
合計	460,000	100.0	490,000	100.0

(注) 1. (3)、(6)の関西電力グループには、関西電力㈱は含んでいません。

2. (6)の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

以上